

1 就労支援部会

(1) 平成26年度目標と成果

ア 目標

- (ア) 障害者雇用アップセミナーの開催と雇用ニーズの把握
- (イ) 障害者就業・生活支援センターの有効活用

イ 検討結果

- (ア) 参加企業数は22社、参加者数は26名であった。今回は対象を「新たに障害者を雇用しようと考えている企業」と絞ったため、企業も積極的にグループトークで意見交換され、より多くのつながりをつくることができた。
- (イ) 障害者就業・生活支援センターには、トレーニング機能が存在しないことや関係機関への認知度がまだ不十分といった課題があった。

(2) 平成27年度検討事項

ア 障害者雇用セミナーの開催

平成26年度は新規雇用を考えている企業をターゲットにしたが、今年度はそこからさらに1歩進んで、企業で働く障害者の職場定着を目標とした内容でセミナーの開催を予定している。

イ 障害者就業・生活支援センターの有効活用

障害者就業・生活支援センターは、本人を育てるトレーニング機能を備えていないため、その機能を持つ就労移行支援事業所と本人を繋げることで適応力をつけてから就職へと導くことができる。しかし、障害者就業・生活支援センターの相談者の中には就労移行支援事業所に通わず、直接相談に来る人も多く、本人に仕事の適応力がない状態で就職してしまうため、離職に繋がる可能性を高めてしまっている。

この課題を解決するため、障害者就業・生活支援センターと就労移行支援事業所との連携体制の構築を検討していく。